

全支部で年間目標達成・昨年実績超過を!

# あかるいまち21

No.1095号 2017年12月21日 組織部 TEL082-532-1264

|        |       |        |
|--------|-------|--------|
|        | 12月累計 | 4月～11月 |
| 組合員ふやし | 65人   | 978人   |
| 出資金ふやし | 408万円 | 7385万円 |
| 純増     | 158万円 | 1122万円 |

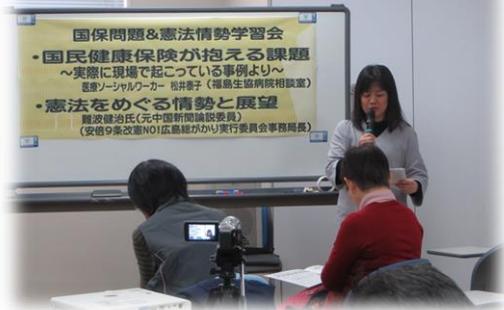
## 国保問題と憲法情勢学習会

理事会社保・平和委員会は、12月7日に国保問題と憲法情勢学習会を行ないました。講師は、松井泰子福島生協病院相談室科長(医療ソーシャルワーカー)と難波健治安倍9条改憲NO!広島総がかり実行委員会事務局長(元中国新聞論説委員)にお願いしました。

最初に、松井科長に「国民健康保険が抱える課題」と題して、福島生協病院で実際に発生した「死亡事例」として現場からの報告をしてもらいました。一つ一つの事例は深刻で、高い保険料が支払えず、全額実費を支払わなければ医療機関を受診できないので、出血し続けているにも拘らず受診できず、手遅れとなり「死亡事例」となったという内容でした。そこには、国民健康保険が社会保障制度としての役割を果たしておらず、生活困窮者には十分に使えない制度になっている状況が報告されました。

次に難波氏により「憲法9条」改憲をめぐる情勢を報告してもらいました。状況は大変逼迫しており危機感を抱かざるを得ない内容でした。国民の中であらゆる繋がりを活かして対話をすすめ、国会に発議をさせない大きな力をつくり出さなければいけないことが、わかり易く胸に落ちるような講演となりました。「北」の情勢に負けない力を発揮する時が来たようです。

今、健康と平和を守る医療生協らしい活動が求められています。組合員・職員とも関心が高く、急ぎよの開催にもかかわらず27名の参加がありました。



## 『居場所づくり交流会』を開催



12月12日、サロンを運営している方やサロンに興味がある方など、合計25人が集まり、「居場所づくり交流会」を開催しました。

生協にある主なサロンを一つずつ紹介していき、参加者からの質問に答えたり、サロン同士で意見交換やアドバイスをしたりしました。特に、この日参加してもらった4つのサロンの方からは、サロンをしている中でうれしかったことや運営の悩みなど、生の声を聞くことができました。サロンを運営する皆さんも、参加しているサロン以外のことを知る機会はなかなかないと思うので、新たな気づきや、今後の参考になることを得る機会になったのではないのでしょうか。

少しサロン同士の交流に偏ってしまったので、まだサロンに関わっていない方には分かりづらい部分もあったかもしれませんが、みなさん「これからサロンに参加してみたい」など、前向きに受け止めてくださったようでひと安心しました。

今回は、ほとんど「サロン交流会」になってしまいましたが、居場所のかたちはさまざまです。サロンでもいいし、もっと気楽な集まりでもいいし…みなさんの地域でも、気軽に集まれる“居場所”を作ってみては?

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合